

令和6年度事業報告

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

公益社団法人 自彊術普及会

I 【概 要】

令和6年度は、世界的な選挙イヤーとなり、日本・アメリカを含む世界各国でトップや政権の交代が起った。わが国の経済分野では、日経平均株価がバブル期を超える水準に達した他、日銀が17年ぶりに利上げに踏み切るなど、デフレ脱却に向けた大きな転換点を迎える年になった。しかしながら、米国で2期目のトランプ政権がスタートした令和7年1月以降は、日本経済および世界経済の先行きは、不透明感を増している。明るい話題では、パリオリンピック・パラリンピックや野球のメジャーリーグ等のスポーツ、そしてノーベル平和賞受賞など文化、社会分野で日本人がグローバルに注目を集めた1年でもあった。

令和6年度は、公益法人制度においても、更なる躍動に向けた大きな変化があった。5月に国会で公益二法が可決・成立し、「公益法人の判断で機動的な取組み」が可能となる一方で、「透明性とガバナンスの向上によって、社会からの信頼を確保」することを内容とする新しい公益法人制度が令和7年4月からスタートした。

公益社団法人自彊術普及会は、昨年50周年を迎え約45,000名の会員の皆様と全国の教場の先生方に支えられて、新たな歴史を歩み始めた。変化の激しい時代における多様で複雑な課題に取り組むためには、われわれ「公益社団法人」の「公」として果たす役割が、ますます重要となっている。

1. 会員数減少の下げ止まり

会員数は、6年連続の減少で45,232名となった。減少数は571名(1.2%)と昨年度並みに止まり、増加に転じた支部も関西総支部を中心に10支部以上みられた。これはコロナ禍を乗り越えた今、指導者各位の受講生との繋がりや深さと、自彊術が免疫力や自己治癒力の強化に効果が期待できること、また会員の皆様にとって生活の一部として位置づけられていることが大きな理由であると考えられる。指導者層の世代交代や支部組織体制の強化に取り組まれている各支部長並びにそれを支える指導者各位のご尽力に、心より敬意を表する。

2. 各種会議・研修会等の活性化

理事会(5月・2月)、総会(6月・2月)、総支部長会議(9月・2月)、支部長会議(4月・10月)はリモート形式(Zoom・電話会議)を一部併用しつつ、通常形式で開催した。

上級指導者研修会、「本部研修会 in 熱海」、総支部指導者養成所研修会、地方特別研修会

もほぼコロナ禍前（2019 年）の頻度と規模で実施された。

3. 私たちの務め

初伝、中伝、奥伝の資格取得者数は支部により差はあるもののほぼ順調に推移している。今後とも自彊術が“療法を背景とする奥深い健康体操である”ことを各教場で伝えることのできる指導者の育成に注力して、一層の基盤強化を図っていく必要がある。常に「社会のための自彊術」という視点を持ち、各事業の遂行に努めてくださった各支部長、全国の指導員、本部職員の皆様に改めて感謝を申し上げる。

会 員	令和 6 年 3 月末	令和 7 年 3 月末	増 減
正 会 員	5 7 8	5 8 7	9
賛 助 会 員	4 5, 2 2 5	4 4, 6 4 5	- 5 8 0
合 計	4 5, 8 0 3	4 5, 2 3 2	- 5 7 1

II 【事業の内容】

公 1 普及促進事業

1. 指導講習会の実施(定款第 4 条第 1 項(1))

- ① 本部主宰の講習会のほか中伝資格以上の指導者が主宰する教場での講習会は、令和 6 年度は下表の推移となった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国・四国・九州	合計
既存教室 R5 年下期 (確定値)	53	253	2, 629	584	733	378	4, 630
R6 年度増減 (※速報値)	-1	3	-22	-7	23	-5	-9
計	52	256	2, 607	577	756	373	4, 621

※ 各支部長申告のデータより算出しています。

② 受託講習会

地方公共団体・NPO 法人等の主宰する講習会や、NHK 文化センター・朝日カルチャー・よみうりカルチャー・(株) カルチャーなどの民間カルチャーセンターからの講師派遣依頼も増加した。

2. 指導者養成及び資格・称号の授与(定款第 4 条第 1 項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承する為に、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保する為に、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1) **指導者養成特別研修会**（「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第5条）

■ **本部研修会**

「準師範等研修会」に於ける検証・確認事項を、正会員をはじめとする現役指導者及び資格取得を目指す者に直接伝える研修を行う。安全かつ適切な指導を全国的に維持・確保する重要な研修会である。

① **「本部研修会 in 熱海」**

第121回	令和6年4月12日～13日 指導者 師範1名・準師範1名・奥伝3名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者60名 シニア22名 計82名
第122回	令和6年6月21日～22日 指導者 師範1名・準師範1名・奥伝3名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者56名 シニア24名 計80名
第123回	令和6年10月25日～26日 指導者 師範1名・準師範1名・奥伝4名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者67名 シニア41名 計108名

② **「シニア本部研修会 in 熱海」**（68歳以上の、指導者を目指す者を対象とする。）

第18回	4月、6月、10月の本部研修会 in 熱海と同日開催とした
------	-------------------------------

今年度は、シニア（第18回）と合同で3回すべて開催。

③ **「本部道場研修会」**

東京を中心とする首都圏の会員を対象とし、年10回を1タームとする基準をもって実施する研修会である。10回すべて実施された。

■ **「総支部指導者養成所研修会」**

各支部の中核となる指導者養成のために、総支部に於いて年10回を1タームとする基準をもって実施された。

総支部名	実施会場	実施回数
東北総支部	福島市霞町 福島市市民会館	10
神奈川県総支部	本部道場	10
中部総支部	名古屋市 アイリス愛知	10
関西総支部	吹田市 さんくすホール	10
九州・中国総支部	福岡市 西国武道会館	10

■「地方特別研修会」

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年1回随時実施した。

令和6年度 地方特別研修会

番号	支部名	特研開催日		場 所	実行委員長	講師		
1	沖縄支部	4月6日	土 ～ 4月7日	日 ユインチホテル南城	野原文雄	結城献子		
2	石川県支部	5月11日	土 ～ 5月12日	日 石川県文教会館	木戸外茂子	久留恵子		
3	静岡葵支部	5月18日	土 ～ 5月19日	日 平井公民館	松井陽子	猪狩正子	石原久美子	
4	富士北麓支部	5月20日	月 ～ 5月21日	火 宝鏡寺空手道場	新田孝子	劔早百合		
5	大宮支部	5月21日	火 ～ 5月22日	水 本部道場	佐藤美枝子	花輪とも絵	鈴木玲子	
6	大阪府支部	5月25日	土 ～ 5月26日	日 パナソニックリゾート大阪	綿田芙美枝	加藤由美子	小栗加代子	
7	北九州支部	5月25日	土 ～ 5月26日	日 菅原会館	利上静江	朝倉淑美		
8	甲府支部	5月25日	土 ～ 5月26日	日 びゅあ総合	浦野まゆみ	石田幸子		
9	千葉県成田支部	5月28日	火 ～ 5月29日	水 本部道場	長岡勝美	白須清子	伊倉まゆみ	
10	豊橋・静岡県・豊川支部合同	5月31日	金 ～ 6月1日	土 もくせい会館	富田節代	三上博子	鳴尾桂子	
11	京都府・大阪東支部合同	6月1日	土 ～ 6月2日	日 パナソニックリゾート大阪	高橋典子	吉川由美子	結城献子	
12	福島・茨城県支部合同	6月2日	日 ～ 6月3日	月 国民宿舍鶴の岬	事務長 舟生須美子	猪狩正子	志田由美子	
13	山形県・宮城県支部合同	6月2日	日 ～ 6月3日	月 ヒルズサンピア山形	齋藤節子	松井陽子	山本奈智子	
14	東京北支部	6月29日	土 ～ 6月30日	日 本部道場	堤恭子	吉川由美子	野口知子	志田由美子
15	横浜朝日・横須賀南支部合同	6月29日	土 ～ 6月30日	日 かながわ平和祈念館	三上博子	加藤由美子	田中政子	
16	わかやま県・奈良県支部合同	6月29日	土 ～ 6月30日	日 パナソニックリゾート大阪	鳴尾桂子	江波戸光子	佐野典子	
17	横須賀・神奈川南・神奈川ふじさわ・湘南支部合同	7月6日	土 ～ 7月7日	日 かながわ平和祈念館	鎌上恭子	白須清子	田中信子	
18	兵庫県支部	7月6日	土 ～ 7月7日	日 ホテル北野六甲荘	四本多美子	花輪とも絵	宮澤真己子	
19	北海道支部	7月7日	日 ～ 7月8日	月 札幌エルブラザ情報センター	玉置百合子	佐藤美枝子		
20	川越・熊谷・東松山・大宮南支部合同	7月16日	火 ～ 7月17日	水 本部道場	須賀照子	朝倉淑美		
21	春日部・春日部南・越谷・春日部北支部合同	7月23日	火 ～ 7月24日	水 本部道場	藤井靖子	三上博子	藤澤貴美江	
22	福岡・南九州支部合同	9月1日	日 ～ 9月2日	月 西国武道会館	宮本縫子	堤恭子	長島正枝	
23	滋賀県・京都洛中支部合同	9月14日	土 ～ 9月15日	日 ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター	朝倉淑美	加藤由美子	利上静江	
24	横浜支部	9月17日	火 ～ 9月18日	水 本部道場	石野洋子	吉川由美子	浦野まゆみ	
25	千葉県・千葉県柏・新宿朝日支部合同	9月24日	火 ～ 9月25日	水 本部道場	白須清子	鎌上恭子	劔早百合	
26	名古屋・名古屋中支部合同	10月5日	土 ～ 10月6日	日 アイリス愛知	石原久美子	佐藤美枝子	佐藤弘子	
27	練馬・立川朝日支部合同	10月15日	火 ～ 10月16日	水 本部道場	志田由美子	吉川由美子		
28	東京北支部（ワシントンD.C.）	10月16日	水 ～ 10月17日	木 Seven Locks Baptist Church	堤恭子	久留恵子		
29	板橋・小平支部合同	10月29日	火 ～ 10月30日	水 本部道場	劔早百合	花輪とも絵	小倉眞理子	
30	岡山支部	11月1日	金 ～ 11月2日	土 坂出グランドホテル	佐野典子	松井陽子	岡田智恵子	

(2) **上級指導者研修会**（「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第6条）

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、後進指導者を養成する能力を養うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する気概を持つ人材を育成することを目的とする。

- ① **準師範等研修会**（31 動・療法についての技術、指導法、その他、指導上の要点の検証及び確認をし、その結果を指導者養成所特別研修会における研修に反映させることにより、指導の全国的統一性、均質性を維持・確保することを目的とする。）

箱根湯本:令和6年11月10～11日 奥伝会と同日開催した。

② **奥伝研修会**

- (i) 選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会の講師となる者を養成することを目的とする。)

本部道場において令和6年4月10日、10月9日に開催し本年度は候補者18名を選出。

- (ii) 奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)

箱根湯本:令和6年11月10～11日に開催した。師範4名、準師範12名、奥伝43名

③ **支部長研修会**

本部道場において令和6年4月10日、10月9日に開催した。

(3) **資格・称号の授与**(定款第4条第1項(2))

免 状	年 度	月	人 数	小 計
初 伝	令和6年	4 月	64 名	
		7 月	78 名	
		10 月	77 名	
	令和7年	1 月	108 名	327 名
中 伝	令和6年	8 月	105 名	105 名
奥 伝	令和6年	6 月	8 名	8 名
準師範	令和6年	6 月	2 名	2 名
師 範	令和6年	6 月	2 名	2 名

地方区分別免状取得者分布は、下記のごとくとなった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国四国 九州	合計
初 伝	3	15	202	25	46	36	327
中 伝	2	6	45	16	28	8	105
奥 伝	0	0	5	1	2	0	8
準師範	0	1	0	1	0	0	2
師 範	0	0	2	0	0	0	2

公 2 普及啓発事業

1. 自彊術に関する調査研究(定款第4条第1項(3))

自彊術受講者を対象に実施されていた、健康度測定調査(体力測定)及びパルスオキシメーターによる「血中酸素飽和度変化」の調査に替えて、今年度は「自彊術における健康と運動と幸福度」に関する調査研究に着手した。

2. 自彊術に関する刊行物等の発行(定款第4条第1項(3))

(1) 機関紙「自彊の友」の発行

551,417部の発行となった。

令和6年度各号の主な記事は次の通りである。

「自彊術の先生になった友へのインタビュー」「我がクラスの自慢したい先輩」「各種体験談」等の定番記事に加えて、コロナ禍が収まり再開された本部や各支部の活動報告や「ちょっといい話」等々、多くの方々から記事をお寄せいただき、自彊術の普及啓発と会員相互の絆を深めることに役立てた。

4月号(578号)

- ・令和6年度予算総会報告
- ・神奈川南支部35周年記念研修会
- ・健康寿命を延ばす生き方について④(理事 医学博士 関谷剛)
- ・令和5年度災害対応募金活動 お礼とご報告

5月号(579号)

- ・沖縄支部地方特別研修会
- ・初伝免状 令和6年4月1日附(64名)
- ・4月1日附人事
- ・健康寿命を延ばす生き方について⑤(理事 医学博士 関谷剛)

6月号(580号)

- ・京都洛中支部設立20周年記念大会
- ・“子育てママ対象”に無料体験会(東京北支部)
- ・健康寿命を延ばす生き方について⑥(理事 医学博士 関谷剛)

7月号(581号)

- ・公益社団法人自彊術普及会 第14回通常総会報告
- ・授与式及び懇親会

- ・人生健康寿命を延ばす生き方について⑦（最終回）（理事 医学博士 関谷剛）

8月号（582号）

- ・岡山支部たより
- ・初伝免状 令和6年7月1日附（78名）
- ・脳の達人が徹底解説！認知症の予防法①（本郷赤門前クリニック院長 吉田たかよし）

9月号（583号）

- ・本部道場訪問の旅（静岡葵支部・東松山支部）
- ・脳の達人が徹底解説！認知症の予防法②（本郷赤門前クリニック院長 吉田たかよし）

10月号（584号）

- ・自彊術普及会設立50周年記念 新しいポスターができました!!
- ・中伝免状 令和6年8月15日附（105名）
- ・Let's do 自彊術 In 茨木（大阪府支部）
- ・脳の達人が徹底解説！認知症の予防法③（本郷赤門前クリニック院長 吉田たかよし）

11月号（585号）

- ・東京北支部設立20周年記念祭
- ・初伝免状 令和6年10月1日附（77名）
- ・脳の達人が徹底解説！認知症の予防法④（本郷赤門前クリニック院長 吉田たかよし）

12月号（586号）

- ・春日部北支部設立10周年記念大会
- ・中井房五郎生誕地バスツアー（大阪府支部）
- ・脳の達人が徹底解説！認知症の予防法⑤（本郷赤門前クリニック院長 吉田たかよし）

1月号（587号）

- ・令和7年謹賀新年
- ・初伝免状 令和7年1月1日附（108名）
- ・親子で楽しく自彊術（福島支部）
- ・令和6年度奥伝会開催
- ・脳の達人が徹底解説！認知症の予防法⑥（本郷赤門前クリニック院長 吉田たかよし）

2月号（588号）

- ・初の海外開催 ワシントンD.C.地区地方特別研修会（東京北支部）
- ・脳の達人が徹底解説！認知症の予防法⑦（本郷赤門前クリニック院長 吉田たかよし）

3月号(589号)

- ・千葉県柏支部設立30周年記念大会
- ・脳の達人が徹底解説！認知症の予防法⑧(本郷赤門前クリニック院長 吉田たかよし)

(2) 「リーフレット」の配布状況

リーフレットは、自彊術普及会設立50周年を機に改定を行い、「自彊術」の歴史とメカニズム、自彊術で予防または改善が期待できる症状などを記載し、幅広く社会全般へのPRに活用した。23,145部の配布となった。

(3) 「自彊術の栞」の配布状況

栞には、「カリキュラム」「自彊術の心得」とともに、入会に必要な事項が記載されている。4,961部の配布となった。

3. webによる情報の公開(定款第4条第1項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、ホームページのタイムリーな更新や、動画の掲出等更なる充実を図っている。

4. 公開講演会の実施(定款第4条第1項(4))

会員の啓発及び一般の方々への自彊術啓発を目的として、6月12日通常総会後に実施。

- ・講演者 本郷赤門前クリニック院長
医学博士 吉田たかよし 先生
- ・テーマ 「脳の達人が徹底解説！認知症の予防法」

5. 周年記念行事の実施(定款第4条第1項(4))

- ・50周年 大宮支部
- ・30周年 千葉県柏支部 横須賀支部
- ・20周年 京都洛中支部
- ・10周年 春日部北支部

6. 海外文化交流の実施(定款第4条第1項(4))

ワシントン・台湾の2教室で、指導者の派遣などの積極的な海外文化交流事業を実施した。

(1) ワシントン教室

本年度、米国で初の地方特別研修会が10月16～17日、ワシントンD.C.にて開催され21名が参加。初回としては大盛況であった。

(2) 台湾教室

コロナ禍も落ち着きを見せ、今年度は9月から3回、指導者育成の講習会を実施した。

7. 近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて自彊術の技術的精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・事務局就業時間中、一般の方も常時見学ができる。(要予約)
- ・入館料は無料
- ・本年度入館者数 241 名

III 【その他】

1. 会議(定款第3章以下及び4章以下)

- (1) **総会** ○決算総会 令和6年6月12日 京王プラザホテル(東京都新宿区)
議題：令和5年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告

○予算総会 令和7年3月5日 北とびあ (東京都北区)
議題：令和7年度事業計画の承認
令和7年度収支予算の承認

- (2) **理事会** ○決算理事会 令和6年5月15日 本部第二道場
議題：令和5年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告
決算総会招集及び提出議案の決定

○予算理事会 令和7年2月7日 本部第二道場
議題：令和7年度事業計画の承認
令和7年度収支予算の承認
予算総会招集及び提出議案の決定

- (3) **支部主催会議** 随時
本部よりの通達事項の遵守を目的に随時開催された。

2. 見舞金・義援金募金活動の実施

令和6年度「災害対応拠出金口座」には、全国の会員の皆様から、総額約174万円のご厚志が寄せられた。心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年1月1日にマグニチュード7.6の地震が発生し、大きな被害が出た石川県能登半島では、9月には平年の2倍の降水量を上回る豪雨に見舞われ、復旧・復興途上の地域はダブルパンチの被害を受けた。これ以外にも、停滞した梅雨前線の影響で東北地方の日本海側を中心に大雨(7月下旬)。日向灘を震源に震度6弱を観測し、初の南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)の発表(8月8日)。動きの遅い台風10号により、西日本から東日本の太平洋側で記録的な大雨や暴風、波浪、高潮、竜巻が発生(8月下旬)。今年3月には全国で山林火災が多発し、住宅地まで被害が及んだ。近年は災害が激甚化・頻発化するとともに大規模地震の発生も切迫化している。

執行理事会では、前年度の繰越金(約109万円)を加えた募金総額約283万円を被害の甚大な、石川県能登地方と岩手県大船渡市(各100万円)、並びに日本赤十字社(約83万円)に、義援金として送った。

3. マスコミに取り上げられた自彊術

山形県支部

- ・山形新聞（2025 年 2 月 25 日）
「みんなのひろば」欄 講座案内
- ・広報つるおか（2024 年 9 月）
無料体験会案内

千葉県柏支部

- ・生活クラブ生協茨城機関紙「わたげ」（2024 年 6 月号）
自彊術講習会の紹介

小平支部

- ・FM 西東京（2025 年 3 月 16 日、3 月 23 日）
「大人の喫茶店」コーナー
自彊術体操の紹介
- ・市報こだいらミニ情報（2025 年 3 月 5 日）
教室紹介

富士北麓支部

- ・ミニコミ誌「街かど情報 TSURU」（2025 年 1 月 26 日）
自彊術指導員の活動紹介

越谷支部

- ・コミュニティ南越谷（2025 年 1 月 1 日）
講座紹介（自彊術くらぶ）

春日部北支部

- ・杉戸町コミュニティセンター情報誌「すぎと NEWS」（2024 年 8 月号）
教室紹介と春日部北支部 10 周年記念大会の案内

横須賀支部

- ・横須賀市広報誌（2024 年 10 月 1 日）
横須賀支部設立 30 周年大会の案内

神奈川南支部

- ・タウンニュース港南区・栄区（2024 年 10 月 17 日）
無料体験会紹介

静岡県支部

- ・FM-Hi シティエフエム静岡（2024 年 7 月 24 日）
「ゆうラジ！Radio 魂（ソウル）」リビカル玉手箱
自彊術体操と指導員の活動紹介

豊川支部

- ・ミニコミ誌「らくなーる通信」（2025 年 3 月）
活動紹介

兵庫県支部

- ・NPO 法人かけはしニュース（2024 年 10 月 1 日）
教室紹介

奈良県支部

- ・タッキー816 みのおエフエム（2025 年 2 月 19 日）
教室紹介

大阪東支部

- ・ミニコミ誌「泉北コミュニティ」（2024 年 9 月 12 日）
自彊術体操と指導員の活動紹介

令和 6 年度事業報告 附属明細書

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条 3 項に規程する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 7 年 5 月 17 日

公益社団法人 自彊術普及会

「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について（報告）

「当法人は、国家公務員法等の規定に関し、国家公務員であった者が法人の役員として再就職する場合に事前に政府に届出を行うことが必要な「国と特に密接な関係がある法人」に該当しません。」旨の報告を、内閣官房内閣人事局内閣参事官（退職管理担当）宛に致しました。

平成 30 年 10 月 22 日

公益社団法人 自彊術普及会

令和6年度 決算報告書

令和6年度 貸借対照表

令和7年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	175,750,161	182,725,184	-6,975,023
未収金	382,461	505,823	-123,362
前払費用	1,642,169	868,188	773,981
流動資産合計	177,774,791	184,099,195	-6,324,404
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,105,000	30,105,000	0
基本財産合計	30,105,000	30,105,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	25,000,000	25,000,000	0
減価償却引当資産	57,000,000	57,000,000	0
新自彊術会館建設積立資産	206,000,000	206,000,000	0
特定資産合計	288,000,000	288,000,000	0
(3) その他固定資産			
建物	359,358,407	350,709,492	8,648,915
建物附属設備	19,374,820	17,097,820	2,277,000
構築物	1,053,982	1,053,982	0
什器備品	10,000,615	10,955,767	-955,152
土地	267,724,687	267,724,687	0
減価償却累計額	-183,092,523	-175,107,598	-7,984,925
電話加入権	72,800	72,800	0
商標権	1,965,295	1,965,295	0
ソフトウェア	6,600,000	6,600,000	0
保証金	20,000	20,000	0
その他固定資産合計	483,078,083	481,092,245	1,985,838
固定資産合計	801,183,083	799,197,245	1,985,838
資産合計	978,957,874	983,296,440	-4,338,566

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,514,640	4,360,315	-845,675
前受会費	41,030,500	42,188,500	-1,158,000
預り金	730,881	1,872,994	-1,142,113
流動負債合計	45,276,021	48,421,809	-3,145,788
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	32,611,500	30,913,500	1,698,000
退職給付引当金	3,902,358	3,563,660	338,698
固定負債合計	36,513,858	34,477,160	2,036,698
負債合計	81,789,879	82,898,969	-1,109,090
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	867,167,995	870,397,471	-3,229,476
一般正味財産合計	867,167,995	870,397,471	-3,229,476
(うち基本財産への充当額)	(105,000)	(105,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(263,000,000)	(263,000,000)	(0)
正味財産合計	897,167,995	900,397,471	-3,229,476
負債及び正味財産合計	978,957,874	983,296,440	-4,338,566

令和6年度 正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	120,000	120,000	0
② 特定資産運用益	32,564	5,524	27,040
③ 受取会費	140,687,000	142,541,000	-1,854,000
正会員受取会費	5,930,000	5,980,000	-50,000
賛助会員受取会費	134,757,000	136,561,000	-1,804,000
④ 事業収益	71,644,020	71,982,419	-338,399
講習会等実施事業収益	7,626,020	9,110,919	-1,484,899
指導者養成事業収益	53,436,000	53,329,000	107,000
資格等授与事業収益	10,582,000	9,542,500	1,039,500
⑤ 受取寄付金	50,000	530,235	-480,235
受取寄付金	50,000	530,235	-480,235
⑥ 雑収益	8,371,616	6,863,746	1,507,870
総会・懇親会会費	8,352,000	6,699,000	1,653,000
受取利息	11,616	221	11,395
その他雑収益	8,000	164,525	-156,525
経常収益計	220,905,200	222,042,924	-1,137,724
(2) 経常費用			
① 事業費	186,315,939	186,292,665	23,274
役員報酬	24,541,680	24,541,680	0
給料手当	24,325,302	24,372,976	-47,674
臨時雇賃金	3,212,350	3,282,976	-70,626
報酬謝金	21,405,000	23,699,500	-2,294,500
役員退職慰労引当金繰入額	1,227,084	1,227,084	0
退職給付費用	282,291	693,849	-411,558
退職給付金	700,000	350,000	350,000
法定福利費	2,923,383	2,898,036	25,347
会議費	7,099,413	6,957,460	141,953
会場費	938,773	945,733	-6,960
研修会場費	12,440,230	12,674,360	-234,130
旅費交通費	15,489,670	14,115,009	1,374,661
通勤費	528,929	528,929	0
通信運搬費	8,776,426	9,192,988	-416,562
減価償却費	8,180,278	7,960,964	219,314
消耗品費	5,393,480	4,472,050	921,430
修繕費	1,343,144	1,028,445	314,699
印刷製本費	11,006,666	10,967,985	38,681
渉外費	163,319	252,380	-89,061
光熱水料費	1,528,100	1,402,883	125,217
賃借料	90,860	0	90,860
リース料	406,817	431,957	-25,140
保険料	364,005	364,056	-51
諸謝金	2,985,168	1,572,821	1,412,347
租税公課	5,753,893	5,015,260	738,633
インターネット費	31,152	31,152	0

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支払手数料	318,991	338,642	-19,651
委託費	4,056,800	3,547,900	508,900
事務委託費	18,950,600	21,492,800	-2,542,200
雑費	1,852,135	1,932,790	-80,655
② 管理費	37,818,737	34,345,075	3,473,662
役員報酬	10,118,320	10,198,320	-80,000
給料手当	2,508,476	2,479,802	28,674
役員退職慰労引当金繰入額	470,916	470,916	0
退職給付費用	56,407	111,997	-55,590
退職給付金	0	100,000	-100,000
法定福利費	1,311,001	1,338,198	-27,197
福利厚生費	609,114	600,839	8,275
会議費	10,289,979	7,089,987	3,199,992
会場費	1,709,049	1,421,278	287,771
旅費交通費	1,666,348	1,594,903	71,445
通勤費	105,511	105,511	0
通信運搬費	923,034	1,080,282	-157,248
減価償却費	759,798	759,798	0
什器備品費	231,595	0	231,595
消耗品費	331,610	238,900	92,710
修繕費	377,300	0	377,300
印刷製本費	535,903	603,400	-67,497
渉外費	186,462	278,479	-92,017
光熱水料費	477,043	437,765	39,278
リース料	84,839	91,627	-6,788
保険料	22,963	23,535	-572
諸謝金	105,000	530,072	-425,072
租税公課	951,627	805,902	145,725
支払寄付金	2,000	2,000	0
支払手数料	101,325	90,017	11,308
委託費	2,868,800	2,896,267	-27,467
雑費	1,014,317	995,280	19,037
経常費用計	224,134,676	220,637,740	3,496,936
当期経常増減額	-3,229,476	1,405,184	-4,634,660
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-3,229,476	1,405,184	-4,634,660
一般正味財産期首残高	870,397,471	868,992,287	1,405,184
一般正味財産期末残高	867,167,995	870,397,471	-3,229,476
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	897,167,995	900,397,471	-3,229,476

令和6年度 正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	120,000	120,000	0	120,000
②特定資産運用益	0	0	32,564	32,564	0	32,564
③受取会費	0	0	70,343,500	70,343,500	70,343,500	140,687,000
正会員受取会費	0	0	2,965,000	2,965,000	2,965,000	5,930,000
賛助会員受取会費	0	0	67,378,500	67,378,500	67,378,500	134,757,000
④事業収益	71,644,020	0	0	71,644,020	0	71,644,020
講習会等実施事業収益	7,626,020	0	0	7,626,020	0	7,626,020
指導者養成事業収益	53,436,000	0	0	53,436,000	0	53,436,000
資格等授与事業収益	10,582,000	0	0	10,582,000	0	10,582,000
⑤受取寄付金	0	0	50,000	50,000	0	50,000
受取寄付金	0	0	50,000	50,000	0	50,000
⑥雑収益	8,000	0	11,616	19,616	8,352,000	8,371,616
総会・懇親会会費	0	0	0	0	8,352,000	8,352,000
受取利息	0	0	11,616	11,616	0	11,616
その他雑収益	8,000	0	0	8,000	0	8,000
経常収益計	71,652,020	0	70,557,680	142,209,700	78,695,500	220,905,200
(2) 経常費用						
①事業費	124,567,926	61,748,013	0	186,315,939	0	186,315,939
役員報酬	17,672,520	6,869,160		24,541,680		24,541,680
給料手当	19,867,927	4,457,375		24,325,302		24,325,302
臨時雇賃金	3,212,350	0		3,212,350		3,212,350
報酬謝金	21,405,000	0		21,405,000		21,405,000
役員退職慰労引当金繰入額	883,626	343,458		1,227,084		1,227,084
退職給付費用	232,073	50,218		282,291		282,291
退職給付金	700,000	0		700,000		700,000
法定福利費	2,266,095	657,288		2,923,383		2,923,383
会議費	6,245,609	853,804		7,099,413		7,099,413
会場費	0	938,773		938,773		938,773
研修会場費	12,440,230	0		12,440,230		12,440,230
旅費交通費	13,890,084	1,599,586		15,489,670		15,489,670
通勤費	416,101	112,828		528,929		528,929
通信運搬費	1,429,484	7,346,942		8,776,426		8,776,426
減価償却費	7,006,866	1,173,412		8,180,278		8,180,278
消耗品費	2,768,034	2,625,446		5,393,480		5,393,480
修繕費	1,343,144	0		1,343,144		1,343,144
印刷製本費	51,920	10,954,746		11,006,666		11,006,666
渉外費	154,339	8,980		163,319		163,319
光熱水料費	1,323,653	204,447		1,528,100		1,528,100

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
賃借料	90,860	0		90,860		90,860
リース料	279,101	127,716		406,817		406,817
保険料	319,431	44,574		364,005		364,005
諸謝金	23,000	2,962,168		2,985,168		2,985,168
租税公課	4,323,968	1,429,925		5,753,893		5,753,893
インターネット費	0	31,152		31,152		31,152
支払手数料	305,926	13,065		318,991		318,991
委託費	3,302,600	754,200		4,056,800		4,056,800
事務委託費	1,044,250	17,906,350		18,950,600		18,950,600
雑費	1,569,735	282,400		1,852,135		1,852,135
②管理費	0	0	0	0	37,818,737	37,818,737
役員報酬					10,118,320	10,118,320
給料手当					2,508,476	2,508,476
役員退職慰労引当金繰入額					470,916	470,916
退職給付費用					56,407	56,407
法定福利費					1,311,001	1,311,001
福利厚生費					609,114	609,114
会議費					10,289,979	10,289,979
会場費					1,709,049	1,709,049
旅費交通費					1,666,348	1,666,348
通勤費					105,511	105,511
通信運搬費					923,034	923,034
減価償却費					759,798	759,798
什器備品費					231,595	231,595
消耗品費					331,610	331,610
修繕費					377,300	377,300
印刷製本費					535,903	535,903
渉外費					186,462	186,462
光熱水料費					477,043	477,043
リース料					84,839	84,839
保険料					22,963	22,963
諸謝金					105,000	105,000
租税公課					951,627	951,627
支払寄付金					2,000	2,000
支払手数料					101,325	101,325
委託費					2,868,800	2,868,800
雑費					1,014,317	1,014,317
経常費用計	124,567,926	61,748,013	0	186,315,939	37,818,737	224,134,676
当期経常増減額	-52,915,906	-61,748,013	70,557,680	-44,106,239	40,876,763	-3,229,476
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
当期經常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-52,915,906	-61,748,013	70,557,680	-44,106,239	40,876,763	-3,229,476
他会計振替額	0	0	44,106,239	44,106,239	-44,106,239	0
当期一般正味財産増減額	-52,915,906	-61,748,013	114,663,919	0	-3,229,476	-3,229,476
一般正味財産期首残高				509,375,617	361,021,854	870,397,471
一般正味財産期末残高				509,375,617	357,792,378	867,167,995
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額				0	0	0
指定正味財産期首残高				30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高				30,000,000	0	30,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高				539,375,617	357,792,378	897,167,995

令和6年度 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 投資有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券について、償却原価法は重要性が乏しいため採用していない。

(2) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産

建物については、定額法によっている。

建物附属設備、構築物については、定額法及び定率法によっている。

什器備品については、定率法によっている。

② 無形固定資産

定額法によっている。

(3) 役員退職慰労引当金の計上基準

役員の退職慰労金の支払いに充てるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 退職給付引当金の計上基準

職員に対する退職金の支払いに備えるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額とその残高

基本財産及び特定資産の増減額とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	0	0	30,105,000
小計	30,105,000	0	0	30,105,000
特定資産				
退職給付引当資産	25,000,000	0	0	25,000,000
減価償却引当資産	57,000,000	0	0	57,000,000
新自彊術会館建設積立資産	206,000,000	0	0	206,000,000
小計	288,000,000	0	0	288,000,000
合 計	318,105,000	0	0	318,105,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
小計	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	25,000,000	(-)	(-)	(25,000,000)
減価償却引当資産	57,000,000	(-)	(57,000,000)	(-)
新自彊術会館建設積立資産	206,000,000	(-)	(206,000,000)	(-)
小計	288,000,000	(-)	(263,000,000)	(25,000,000)
合 計	318,105,000	(30,000,000)	(263,105,000)	(25,000,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	359,358,407	153,033,567	206,324,840
建物附属設備	19,374,820	14,882,931	4,491,889
構築物	1,053,982	1,002,801	51,181
什器備品	10,000,615	8,467,929	1,532,686
商標権	1,965,295	1,965,295	0
ソフトウェア	6,600,000	3,740,000	2,860,000
合 計	398,353,119	183,092,523	215,260,596

期中に除却した什器備品955,152円は除いている。

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
第339回利付国債(10年)	30,105,000	30,000,000	-105,000
合 計	30,105,000	30,000,000	-105,000

6 支部組織の会計の合計

平成20年度より支部組織の会計を合計表示している。

支部が独立した会計単位となっていないため本部が支部からの会計資料を基礎にして決算を行い、本部会計と合計している。

7 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	30,913,500	1,698,000	0	0	32,611,500
退職給付引当金	3,563,660	338,698	0	0	3,902,358

令和6年度 財産目録

令和7年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	・手元保管(本部)	運転資金として	362,838
		・手元保管(各支部・52口)	運転資金として	4,796,778
		<現金計>		5,159,616
	預金	・城北信用金庫駒込支店	運転資金として	6,565,597
		・三菱UFJ銀行駒込支店	運転資金として	1,964,491
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として	313,378
		・ゆうちょ銀行支部口座(52口)	運転資金として	108,914,601
		<普通預金計>		117,758,067
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として (26471)	52,832,478
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	災害支援金口座として (417841)	0
	<振替預金計>		52,832,478	
	未収金 前払費用	・講師料等の未収額	普及促進事業に供する講師料等の未収分	382,461
		・火災保険料等前払費用額	公益目的事業及び管理業務の用に供する前払費用	1,642,169
<その他計>		2,024,630		
流動資産合計			177,774,791	
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	・第339回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	30,105,000
		<基本財産計>		30,105,000
特定資産	退職給付引当資産	・定期預金	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	15,000,000
		・普通預金 三菱UFJ銀行駒込支店	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	10,000,000
	減価償却引当資産	・定期預金 三菱UFJ銀行駒込支店	減価償却累計額に対応して引当された資産	57,000,000
その他固定 資産	新自彊術会館建設 積立資産	・定期預金 三菱UFJ銀行駒込支店	資産取得資金であり、新自彊術会館建設目的のために積立られた資産	206,000,000
		<特定資産計>		288,000,000
	建物	・会館 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は66%:34%である。	29,131,290
		建物	・本部道場 北区中里二丁目12-3	公益目的事業の用に100%供している。
	建物(工事)	・資料館及び会館内装工事 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は82%:18%である。	8,287,152
	建物	・第二道場 北区中里二丁目14-3	公益目的事業の用に100%供している。	35,857,090
	建物(改修工事)	・資料館及び事務所の改修工事 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は31%:69%である。	4,551,238
	建物(補修工事)	・本部道場の外部補修工事 北区中里二丁目12-3	公益目的事業の用に100%供している。	14,283,123
	<建物計>		206,324,840	
	建物附属設備	・会館の空調・電気・昇降 設置工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は50%:50%	2
・本部道場・会館の看板交換 工事		公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は76%:24%	2	
・第二道場の電気・ガス・ 給排水・冷暖房等設備工事		公益目的事業の用に100%供している。	225,952	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
		・会館2F設備・電気・照明工事	管理業務の用に100%供している。	749,770
		・会館3F電気工事・ミニキッチン等	公益目的事業の用に100%供している。	64,053
		・本部道場空調機オーバーホール	公益目的事業の用に100%供している。	434,727
		・本部道場地下倉庫棚設置工事	管理業務の用に100%供している。	103,438
		・本部道場空調機オーバーホール追加工	公益目的事業の用に100%供している。	769,770
		・本部道場2階畳交換工事	公益目的事業の用に100%供している。	2,144,175
	構築物	<建物附属設備計>		4,491,889
		・第二道場の舗装・排水工事、 ネットフェンス・電動門扉	公益目的事業の用に100%供している。	51,181
	什器備品	<構築物計>		51,181
		・家具	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	5
		・コンピューターサーバー	公益目的事業の用に100%供している。	166,404
		・組込金庫	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	16,269
		・第二道場の電話設備・共同 視聴装置	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・第二道場のインターフォン 設備工事	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・絵画	管理業務の用に100%供している。	1,350,000
		・会館2Fエアコン・ブラインド	管理業務の用に100%供している。	2
		・会館1Fエアコン	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・会館3Fエアコン・換気扇	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・会館3F事務机・応接セット	管理業務の用に100%供している。	2
		<什器備品計>		1,532,686
	土地	・95.70㎡(会館) 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は66%:34%である。	66,453,187
	土地	・131.23㎡(本部道場) 北区中里二丁目12-3	公益目的事業の用に100%供している。	109,410,000
	土地	・116.68㎡(第二道場) 北区中里二丁目14-3	公益目的事業の用に100%供している。	91,861,500
	<土地計>		267,724,687	
	商標権	・自彊術に関する日本・中国・ 台湾の商標権	公益目的事業の用に100%供している。	0
	ソフトウェア	・教場管理システム	公益目的事業の用に100%供している。	2,860,000
	電話加入権	・電話加入権	公益目的事業の用に100%供している。	72,800
	保証金	・警備保障会社契約保証金	管理業務の用に100%供している。	20,000
	<その他計>		2,952,800	
固定資産合計			801,183,083	
資産合計			978,957,874	
(流動負債)	未払金	・アーク印刷 ・郵便事業 ・北社会保険事務所 ・本部カルチャー講師 ・研修会講師 ・尾西食品	月刊機関紙印刷代等の未払額 3月分後納郵便代 3月分厚生年金保険料他 3月分講師料 3月分講師料 災害備蓄食	1,706,323 41,512 297,250 686,038 551,922 231,595
	前受会費	<未払金>		3,514,640
		・賛助会費	令和7年度賛助会費の前受会費	31,504,500
		・研修会費	令和7年度本部研修会in熱海の研修会費	3,388,000
		・研修会費	令和7年度本部道場研修会費	6,138,000
<前受会費>		41,030,500		

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	預り金	・王子税務署 ・ 〃 ・豊島区役所他 ・雇用保険料	3月分 給与分源泉所得税 3月分 204条源泉所得税 3月分 住民税 ＜預り金＞	374,411 12,252 224,300 119,918 730,881
流動負債合計				45,276,021
(固定負債)	役員退職慰労引当金	・役員退職慰労引当金	常勤役員の退職慰労金の引当金 ＜役員退職慰労引当金＞	32,611,500 32,611,500
	退職給付引当金	・退職給付引当金	職員退職金の引当金 ＜退職給付引当金＞	3,902,358 3,902,358
固定負債合計				36,513,858
負債合計				81,789,879
正味財産				897,167,995

監査報告書

令和 7 年 5 月 15 日

公益社団法人 自彊術普及会
代表理事 久保 穎子 殿

監 事 平野 晶己



監 事 小西 康雄



私たちは、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表並びに財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上